

市議会陳情 生活保護の住宅費、県内最低額をただせ！

北九州市は生活保護利用者の家賃（住宅扶助費）が、福岡県内では最低額で、単身者の場合 29000 円/月額です。

保護課は、答弁で「国が、単身者は 25 ㎡（5m×5m）を基準に算出して調査して決めている」と説明。25 ㎡は、トイレや狭い台所、玄関スペースをふくめてですから、実態は押入もなくベッドや冷蔵庫や仏壇を置いたら満杯状況で、安らぐスペースがありません。

陳情審査では、共産 2、公明 2、一人会派の計 5 人が発言しました。声を紹介します。

「県内で一番低いのは事実か。それは妥当と考えるか」に、市「事実だ。妥当かについては申し上げることはありません」。

「家賃は、物価高を反映し、あがっているのではないか」に、市「物価上昇で大きく動い

ていることもある」。

「市は実態を調査しているか」に、市「していない。29000 円で家が見つからないとの声は聴いていない」。議員「黒崎は物件がない。『何らかの形で住んでいる』と言うが、泣く泣く入っている」。

他にも議員からは、「管理費や共益費の負担が生活を脅かしている」「10 年たてば経済状況が随分変化する」「国にしっかり要望していただきたい」「丘の上とか山に行かないと物件がない」「実態を踏まえて、市が国へ主張を」「高度成長時に山側に家ができた。高低差で家賃が違う。山側の家賃安が平均値を下げているのでは」など鋭い意見は出ましたが、継続審査することで異議なし（議員任期は残り 2 カ月）で終了しました。

えっふん

“天国” あったらいいな”と思いました

時々、天国があったらいいなあ！と思うことがあります。

人は、亡くなったらいなくなり、戻ってくることはありません。話しておきたかったこと、聞いておきたかったこと。何よりも“人と人との誤解が解けるといいなあ”と思います。生活の中で一度生じた誤解を解くのは困難なことも多くあります。

筆者が若いころ、仲のいい先輩夫婦がいましたが、夫が帰宅すると妻が自死しており、そのショックで夫が建物から飛び降りて自死しました。職場では「直前に夫婦げんかをしたらしい」と言われました。

その時に、“もし天国があったら、天国で誤解が解けて、仲良く過ごせるのに”と思ったことを思い出します。

暮らしていると、数々の誤解が生じ、その誤解により、人を嫌いになったり、悔しいことが沢山あります。そんな時、“天国があったら”と思うようになりました。人々のそんな思いが天国やあの世を創造したのかな？

死んだら天国に行けるとの誤解で、多くの人が不本意な死を押し付けられたのかもしれない。

先月号の裏面に、「世界でいちばん貧しい大統領からきみへ」の一文を掲載しました。そこには、「死んだら楽園に行くという宗教があるけれど、楽園はこの世にあるべきなんだ。楽園の鍵は、自分の心に、自分の意志にある。ほんとうらしいことに、惑わされてはいけない」という箇所がありました。

この世を少しでも楽園に近づけるために頑張りましょう。



無料、インフルエンザ・コロナのワクチン接種

コロナやインフルエンザが結構広がっています。特に、65 歳以上の方は、是非ともワクチン接種をしたほうがいいと思います。

どちらのワクチンも、接種対象者は、65 歳以上の方と、60 歳以上 65 歳未満の方で、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害による身体障害者手帳 1 級を所持している方または同程度の方です。接種期間は、来年 3 月 31 日までです。

接種費用は、コロナの自己負担額 3,260 円。

インフルエンザは、1,500 円ですが、生活保護受給者の方は無料になります。生活保護を受けていることが医療機関で確認できる場合は手続きは不要です。なお、保護課で「生活保護受給証明書」の交付を受け、接種の際に実施医療機関に提示してください。

詳細や、世帯全員が市民税非課税の方も無料になります。相談コーナーに相談ください。

小倉北区：健康相談コーナー 093-582-3440

小倉南区：健康相談コーナー 093-951-4125

小倉生健会
生活と健康を守る
一人はみんなのために、みんなは一人のために



◇ 今月の傍聴こぼれ話 ◇

右 写真参照⇒

陳情審査が始まり、荒川市議の質問への保護課長の答弁のマイク音が小さくて聞こえませんでした。すると小倉生健会員が傍聴席から「聞こえません」と発言、これに、職員席の一番端に座っていた議会事務局の係長が「静かにしてください」と注意しました。課長は答弁をやめ、他の職員がマイクを取り換え、課長は最初から答弁をし、はっきりと聞こえるようになりました。

この件について、陳情審査後、会員は係長に抗議しました。係長は、「傍聴席は声を出してはいけないルール」と主張。しかし、議事への発言ではなく議場環境への苦情です。

生健会員は、「主権者であり、開かれた議会を標榜している議会傍聴で、陳情当事者に声が聞こえないのを改善するのは、議会事務局の仕事だ。声を出したから改善され聞こえるようになった。それは本来あなたの仕事でしょう。それなのに、『静かにしろ』とは何事ですか」と・・・。



後列は、陳情を見守る生健会の皆さん。その前は、金属パイプで仕切られ、職員が座っています。

（写真はプライバシー保護のため加工しています）

写真提供：小倉タイムス社



今回の、生活保護 110 番は、久しぶりに NHK が取材し放映してくれました。おかげさまで放映後 10 件の相談が寄せられました。

政府

更なる、生活保護費を引き下げを検討中

フォトジャーナリストの安田菜津紀さんの YouTube ラジオ番組に、生活保護引下げ違憲訴訟を支援する全国組織、いのちのとりで裁判の全国アクション事務局長の小久保哲郎弁護士が出演しました。

小久保さんは、生活保護費引下げ裁判について政府の主張の誤り、物価高が続く中で、さらなる生活保護費引下げが検討されている問題などについて、分かりやすくお話をされています。

是非見て下さい。

小久保哲郎さん「物価高と命のとりで」Radio Dialogue 188 (2024/11/27) - YouTube QRコードは、右のとおりです。

ユーチューブの 14 分 7 秒ぐらいからです。その前もいい話がいっぱいです。



住民税非課税世帯へ3万円の給付金

小倉生健会には、給付金の問い合わせが沢山寄せられます。それほど、毎日の暮らしが大変な方が多くいらっしゃいます。

そのため、「下記」のショートメールを 128 人の方に送信しました。受診された方からは、「連絡ありがとうございます。期待がいっぱいです」などのメールが返ってきました。しかし、約半数の方はショートメールを使っていないみたいです。

<送信したメール>
生活保護利用者を含む住民税非課税世帯への 3 万円給付が閣議決定しました。今後、国会、市議会で可決されて来年 1 月から 3 月までに支給されると言われています。

《今週の生命力》
政治家の生命力
ってゴキブリ級
だよ。ね。
新聞で叩けば死ぬ。

皆さん、「ショートメールメッセージ (SMS)」を活用していますか。SMS とは、携帯電話の電話番号宛に文字でメッセージを送受信できるサービスです。相手のメールアドレスがわからない場合でも、携帯番号が分かればメッセージを送信できる便利な道具です。

複数人に同時に送信できないことや、画像や動画、音声データなどは送信できない。文字数に上限があったり、文字数によって料金が変わるといったデメリットもあります。

通信料金は、無料から低額まで様々です。詳しくは契約通信会社へお問い合わせください。

生活保護基準上げて 全生連が厚労委員に緊急要請

全生連の要請を受ける田村貴昭議員(左から3人目) 11月27日、国会内

全国生活と健康を守る会連合会は27日、衆参両院の厚生労働委員に対し、2025年度以降の生活保護基準を物価高騰に見合うよう10%以上の引き上げを求める緊急要請を行いました。

24年9月の消費者物価は前年同月比2.5%上昇し、そのうち食料は3.4%、光熱・水道は8.8%も大幅に値上がりしている

す。これらの物価高騰は低所得者、特に生活保護世帯にとって死活問題となっています。一方で財務省は、13日の財政制度等審議会の財政制度分科会に提出した資料で物価高騰の実態を認めつつも、物価上昇対策として一昨年度から行われている1人当たり月1000円の特別加算や従前額保障を考慮すると、現在の生活保護基準は一般低所得世帯の消費水準を上回っていると主張しています。しかし、同省の主張は23年度までの物価しか考慮しておらず、24年以降も続いている物価高騰を無視したもので、生活実態と大きく乖離(かいりり)しています。

要請を受けた日本共産党の田村貴昭衆院議員は、「何度も2013年の生活保護基準10%引き下げを断罪する判決が出ているときに、さらなる引き下げがありえない。物価高騰に見合う引き上げのためにがんばりたい」と表明しました。

全生連が、田村貴昭 衆議院厚生労働委員に要請

↑ 「しんぶん赤旗」より ↓ 小倉タイムス誌 より

立憲民主	保守	参政	社民	れいわ	国民民主	共産	維新	公明	自民
1	3	3	1	9	28	8	38	24	19
4	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
8	10	16	8	32	53	29	44	51	1
↓									2
98									4

《今週の全国一区制》
政治家の数々の悪を暴いている神戸学院大の上脇博之教授が、小選挙区制を廃止し全国一区の比例にしたら、と今回の総選挙を総括。

戦争に、いい戦争も 悪い戦争もあります。

吉永小百合

ましては大義なんて、これっぽっちもありません。あるのは、聖戦に名を借りた大量虐殺です。今、私達はしっかりと考えて行動しなければいけない時です。戦争をする国になってはいけない。憲法九条を守って、武装ではなく対話で平和な世界を作っていきたい。私は強くそう思います。

素敵な記事 みつけ

星合 志保

テレビでスポーツ観戦をしている時、私はしばしば敗者に感情移入してしまいます。当たり前ですが、鮮やかな逆転勝利を取った人の裏には、悪夢のような逆転負けをしてしまった人がいるということになります。囲碁棋士という職業柄、私自身も数多くの逆転負けを経験してきているので、画面の端に映る敗者の姿に、思わず胸が苦しむ。

勝った日も優しくしてくれよ

同じく囲碁棋士である夫の対局を観戦する時でも同じことが言えます。負けるつらさが分かるからこそ、自分が負けた時以上につらく感じる時もあります。スポーツ観戦の時との大きな違いは、夫はこの後しばらくしたら家に帰ってくるという点です。つらい負け方をした相手にどう接するかというのは本当に難しい問題で、私は今でも答えがわからず悩んでいます。

思い返してみると、私が負けて帰った日は、いつも辛口な夫がほんのりと優しくなります。LINEには「お疲れさま」の一言だけ

で口数は決して多くはないですが、夕飯には私の好物が並びます。その光景だけで私は背中を押されているような気がして、何度も気持ちいが救われてきました。応援の言葉や行動は、負けた時にこそ本当に必要なものかもしれません。改めて感謝すると同時に、そうした夫の気遣いも、私と同じくどで悩んでいた結果なのかもと思うと、妙な絆を感じて少し嬉しくなります。

そんな夫ですが、私が勝った日は別人のように厳しくなります。勝った日だって、もう少し優しくしてくれてもいいんだよ。

(囲碁棋士)